



新政会  
小野 保之  
議員

### 市役所庁舎駐車場について

**質問** 庁舎北側の駐車場は、特に午前中が非常に混雑し、庁舎や市立病院の利用者が駐車できず困惑している人も多い。また、「個人の駐車場として利用している」、「市の職員が駐車している」との市民の声もある。除雪の問題も含めて対応が必要と思うが、考えを伺う。

**答弁** 来庁者の駐車スペースとして利用していただくため、不定期ですが開庁時間のほか、朝、夜にかけて状況を確認し、来庁者でないこと確認できた場合は、口頭による注意や文書等による注意喚起を行っています。職員に関しては、当然、開庁時間には駐車しないよう指導を徹底しています。

### 介護保険・介護認定について

**質問** 申請・調査・認定の段階で訪問調査があるが、適正に行われているのか伺う。また、認定に對しての苦情等はないのか伺う。

**答弁** 訪問調査では、できるだけ家族等の同席を原則とし、複数で行うよう努めています。訪問調査は、同じ調査員が続けて行わないよう公正・公平を期すための配慮をしており、国で定めた基準で行っていますので、その時点での心身の状況が正しく反映されているものと判断しています。

苦情等については、介護度が下がった時に問い合わせがある程度で、ほとんどありません。

### パークゴルフ場について

**質問** 予算減少の中で工事が着工され、当初の計画より縮小されていると思うが、工事の進捗状況と、厳しい財政状況から計画の見直し等を行う考えはあるのか伺う。

**答弁** 平成26年度は、社会資本整備総合交付金の大幅な減額により、工事内容の見直しを余儀なくされ、オープン時期に影響のある芝の養生を最も必要とする18ホールの造成と散水設備を整備し、進捗率は約40%です。交付金が計画どおり交付されれば、平成29年度のオープンが可能と考えており、関係機関に強く要望しているところです。



市民の声連合  
渡辺 精郎  
議員

### 仮称「滝川石炭火力発電所」の再開発について

**質問** 泊原発再稼働に道民世論も厳しい。産炭地の露頭炭利用の石炭火力発電所誘致はどうか。

**答弁** 北電は国内炭を利用する発電所建設予定はないとのことですが、本市として建設を要請する考えはありません。

### 滝川市の人口対策について

**質問** 企業誘致・起業奨励・企業優遇策等で若年労働者の定着を。滝川西高校への求人数も道内外からが圧倒的。市内企業の育成を。

**答弁** 市内企業の振興と企業誘致の両方に取り組んでいます。優遇策として、設備投資に対する助成や用地取得に対する固定資産税相当額の助成、雇用に対する助成などを行っています。

### コミセン廃止案を考え直すべき

**質問** 公共施設が多いことは市民

も理解しているが、公共施設マネジメント計画では、地域コミュニティセンターの小学校等への移転、集約化を進め、住民自治の大切な拠点を奪うことになる。地域の了解がない場合は存続すべき。

**答弁** 西小学校校区をモデルとして検討しており、地域と協議が調ったところから進めていきます。コミュニティ活動と学校教育が独立できるように検討していきます。

### 子どものいじめの防止等に関する条例制定後の取り組みは

**質問** いじめの実態調査の結果は。また、裁判和解後の遺族からの「いじめ防止の要望書」を毎年学校で指導すべきではないか。

**答弁** 6月と11月に調査を実施し、防止対策に取り組んでいます。遺族の願いを様々な教育の場で活かしたいと思っています。

### 国の40人学級への対応は

**質問** 小学1年生の35人学級を40人学級に戻すことを財務省が提案している。市教委の考えは。

**答弁** 35人学級の存続と全ての学年への拡大を要望していきます。